

## 幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る 「横浜版接続期カリキュラム」改訂版発行

横浜の特色である幼保小連携の取組を充実させ

一貫して子どもたちに生きる力を育みます

29年3月の幼稚園教育要領、保育所保育指針、小学校学習指導要領等の改訂を受けて、改訂版を発行します。

年長児後半のアプローチカリキュラムと入学当初のスタートカリキュラムを実施し、教科等の学びへ円滑な接続を図ります。

### 巻頭カラーページ

- 序章 横浜版接続期カリキュラム改訂にあたって
- 第1章 子どもの育ちと学び
- 第2章 遊びを通した総合的な学びと教科等を通した学び
- 第3章 育ちと学びをつなぐ
- 第4章 アプローチカリキュラム
- 第5章 スタートカリキュラム
- 第6章 接続期カリキュラムの実践事例
- 第7章 接続期カリキュラムを支える環境



監修 白梅学園大学 無藤 隆 先生

### 【配付先】

横浜市立小学校・義務教育学校・特別支援学校  
横浜市内の幼稚園・保育園・認定こども園  
児童相談所・地域療育センター・区福祉保健センター・図書館等  
の関係機関

### 【販売】

市庁舎1階刊行物サービスコーナーで販売（5月予定） ￥500



- ◆横浜市には、平成29年4月1日現在、249の私立幼稚園、32の認定こども園、82の市立保育所（公設民営2園を含む）、638の認可保育所があります。この他にも認可外保育所や幼児教育施設等があり、保育、教育の環境や内容は多様化しています。家庭環境も多様化、複雑化しており、様々な点で支援や配慮が必要な子どもが増加しています。「接続期カリキュラム」では多様な環境で育ってきた子どもたちが円滑に接続し、主体的に学びに向かうことができるように様々な手立てや工夫を提案しています。

### お問合せ先

|                          |       |                  |
|--------------------------|-------|------------------|
| こども青少年局保育・教育人材課幼保小連携担当課長 | 金子 正人 | Tel 045-671-3708 |
| 教育委員会事務局 指導企画課長          | 宮城 篤  | Tel 045-671-3233 |